



## 第5章

# 高齢者保健福祉計画

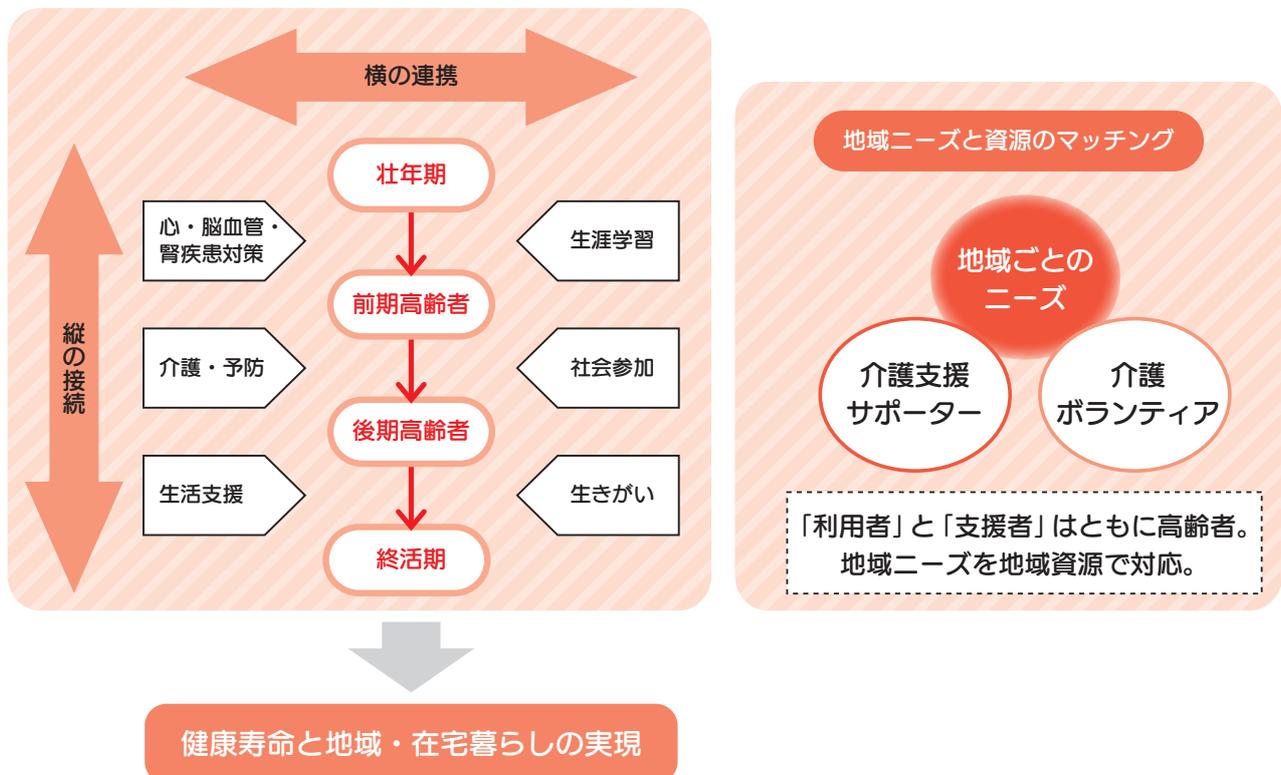
今後、高齢化が一層進む中、高齢者が自分の能力を生かし地域社会に積極的に参加することは、より自分らしく生きがいのある充実した人生を送ることにつながります。

また、介護予防という観点においても、社会参加、社会貢献、就労、生きがいづくり、健康づくりなどの活動を社会全体の取組として積極的に行うことが必要です。

そのためには、高齢者のニーズに応じた、地域住民、ボランティア、NPO等支援団体、さらには地域の企業や各種団体等の多様な主体による支援は、今後も必要であり、ひいては「健康寿命の延伸」につながり、いつまでも安心して地域で暮らせる社会の実現が可能になります。

第9期においても、引き続き、下記の「地域ニーズと地域資源のイメージ」に示すとおり、多様な生活支援サービスが利用できるような地域づくりを支援するとともに、高齢者保健福祉事業に係る人材の確保及び資質の向上並びに高齢者保健福祉事業の業務の効率化及び質の向上に努めます。

地域ニーズと地域資源のイメージ





## 1 施設等の基盤整備への支援

### (1) 養護老人ホーム措置事業

概要	<p>65歳以上の人で、環境上の理由及び経済的理由又は心身の状況により、居宅において養護を受けることが困難な人を措置しています。3施設の総定数は150人です。</p> <p>○養護老人ホーム和幸園 日南市大字風田3200番地 定員：50人</p> <p>○養護老人ホーム清風園 日南市北郷町郷之原乙3655番地5 定員：50人</p> <p>○養護老人ホーム恵老園 日南市南郷町津屋野2558番地2 定員：50人</p>
現状・課題	<p>○独居高齢者の増加に伴い、入所希望者も増加していることから、慢性的に待機者を抱えている現状にあります。</p> <p>○3施設では虐待等による緊急措置として対応する一時保護施設の役割も担っています。</p>
今後の展開	<p>○入所希望や緊急措置に対応するため、今後とも事業を継続します。</p> <p>○待機者増に対し、養護老人ホーム以外の介護保険施設や居住系施設への促し等、措置の必要性を十分に見極めて対応します。</p>

### (2) 保健福祉総合センター

概要	<p>本施設は、市民の各種保健事業に活用されており、広く市民に親しまれています。</p> <p>○日南市保健福祉総合センター 日南市中央通一丁目1番地2</p> <p>○日南市北郷保健センター 日南市北郷町郷之原乙2010番地</p> <p>○日南市北郷福祉センター 日南市北郷町郷之原乙2006番地1</p> <p>○日南市南郷健康福祉センター 日南市南郷町中村乙7051番地171</p>
現状・課題	<p>○新庁舎が令和5（2023）年度に開庁し、保健福祉サービスの拠点という本来の機能を持った施設として稼働しています。</p>
今後の展開	<p>○今後も引き続き保健福祉サービスを提供します。</p>

## 2

## 地域生活の支援

### (1) 高齢者福祉バス支援事業

概要	高齢者団体等が主催する福祉や健康づくり等を目的とした諸行事やふれあいいきいきサロンにおける外出等に、福祉バスを無料で利用できます。
現状・課題	○これまで、新型コロナウイルス感染症防止対策として、利用席数を減らして運行してきましたが、令和5（2023）年5月以降は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことに伴い、利用者が増加傾向にあります。 ○令和2（2020）年5月にマイクロバスを更新したことから、これまで以上に安全・安心で快適なバス利用ができるようになりました。
今後の展開	○新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、コロナ発生前の運行方法に戻すとともに、安全・安心なバスの利用を促進します。

	実績値		見込み
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用回数（回）	26	52	80

### (2) 生活管理指導事業

概要	養護老人ホームや特別養護老人ホームと市で契約し、介護を受けていない高齢者で、かつ、自身で生活管理ができない高齢者等を対象に、短期入所によって生活管理指導を行っています。
現状・課題	○虐待等を受けている高齢者等の一時避難や独居高齢者の入所施設としての役割も担っています。
今後の展開	○自身で生活管理ができない高齢者等に対応するため、事業を継続して実施します。



### (3) 暮らしやすいまちづくりの推進

<b>概要</b>	<p>高齢者の暮らしやすさに十分配慮したまちづくりのため、市の公共施設や新たに建設する施設については、段差の解消やスロープ、エレベーターの設置等のバリアフリー化を進めます。</p> <p>また、外出時に安全に歩くことができる道路環境の整備や、公共交通について、わかりやすい情報提供、移動手段の確保に努めます。</p> <p>市重点戦略プランや福祉分野の計画に沿って関係課、関係機関との連携を図りながら推進しています。</p>
<b>現状・課題</b>	<p>○ユニバーサルデザインの7原則（公平性・自由度・使いやすさ・明確さ・安全性・持続性・空間性）の考え方をベースに、宮崎県福祉条例の整備基準を満たす人にやさしい施設づくりを行います。</p> <p>○公共交通のサービス向上や利用者転換、情報発信が図られる仕組みづくりを行います。</p>
<b>今後の展開</b>	<p>○今後も、組織における横断的な連携を図り、公共交通のサービス向上に向けた検討を進め、福祉のまちづくりを推進します。</p>

### 3 安全・安心の暮らしづくり

#### (1) 緊急通報システム事業

概要	65歳以上の高齢者のみの世帯又は重度の身体障がい者を対象に必要なに応じて緊急通報装置を貸与します。緊急通報に対する迅速な対応により、高齢者等の安全・安心な生活の確保を図っています。
現状・課題	○自宅で生活を送る中で懸念される疾病等による健康面の不安解消など、高齢者が安全・安心に生活できるように必要な事業です。 ○携帯電話の普及により、利用者は減少しています。
今後の展開	○自宅での生活が困難な高齢者等や虐待ケースに対応するために、今後も事業を継続して実施します。 ○関係機関と連携して事業の周知を行い、必要な方が利用できるように努めます。

	実績値		見込み
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用件数（件）	16	17	16

#### (2) 愛の訪問連絡員事業

概要	見守りを必要とする一人暮らし高齢者に連絡員を配置し、日常生活の見守り、緊急時における関係機関への連絡を行います。 また、対象者の緊急連絡先やかかりつけの病院等が記載できる「愛のバトン」を対象者に配布し、緊急時に情報が共有できるようにしています。
現状・課題	○「愛のバトン」により、緊急時における関係者、関係機関との連絡をスムーズに行っています。
今後の展開	○顕在化していない「見守りを必要とする人」を掘り起こすため、自治会、民生委員・児童委員、福祉推進員等、地域の力を生かした実態把握に努めるとともに、関係者及び関係機関との連携を強化します。

	実績値		見込み
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数（人）	851	755	750



### (3) 災害時の安全確保

<p>概要</p>	<p>災害時等においては、特に、避難行動要支援者への支援として、日頃からの要支援者情報の適切な把握と、関係団体等間の共有が必要であり、その取組を推進しています。</p> <p>また、市民の防災意識の向上を図るために、防災講話や地域での訓練等も実施しています。</p>
<p>現状・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昨今の自然災害の発生等を踏まえ、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、大規模災害時における緊急避難体制や安否確認方法等幅広い対策がこれまで以上に求められています。</li> <li>○訓練や防災講話等、日頃からの災害への備えや、防災意識の向上を図る取組を行っていますが、十分とはいえない状況にあります。</li> <li>○災害時においては、要支援者の避難行動に関して、地域住民の力が重要であることから、自治会や自主防災組織等の協力による避難行動支援の体制づくりについて、より一層、取り組む必要があります。</li> <li>○自宅で生活する避難行動要支援対象者に文書で制度の周知と登録を案内し、同意を得た方は専門推進員が個別避難計画を作成してきました。</li> <li>○コロナ禍だったため、地域コミュニティの育成や支援体制の確立を図る取組ができませんでした。いくつかの自治会では、支援体制の確立に取り組みたいという機運もできてきています。</li> <li>○分散避難の啓発は、市ホームページや防災専門官の講話や訓練の中で行ってきました。また、飛沫感染防止のため、コロナ専用避難所を開設し、感染を防ぐためのテントやアルコール消毒液等を整備しました。あわせて、高齢者等が安心して過ごせるための段ボールベッドを導入しました。</li> </ul>
<p>今後の展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難行動要支援者への情報伝達体制や避難支援体制の整備を図るため、対象者に対し、その取組の趣旨の理解を求めるとともに、個人情報への取扱いに対する同意や制度への登録を促進していきます。</li> <li>○避難行動支援に必要な地域コミュニティの育成や、支援体制の確立を図るため、先行事例となるモデル地区等を設定し、その後全域へと展開が図れる取組を行います。</li> <li>○コロナ禍における感染症対策として、分散避難の啓発や、避難所での飛沫感染防止用の資機材の整備等も引き続き実施します。</li> <li>○災害時に迅速かつ的確な支援が実施できるように、引き続き、避難行動要支援者や避難支援者、関係者等と面談し、聞き取りを行いながら計画の精度を高めていきます。</li> <li>○避難支援等関係団体（自治会、民生委員、消防等）と個別避難計画書の情報共有を進め、避難支援体制の整備に取り組みます。</li> </ul>



#### (4) 消費者保護の充実

概要	「振り込め詐欺」、「架空請求」、「悪質な訪問販売」、「催眠商法」、「送り付け商法」等の被害の未然防止及び被害の拡大防止を図るため、市消費生活相談室における相談業務や高齢者を対象とした啓発パンフレットの配布・出前講座を行い、普及啓発を図っています。
現状・課題	○コロナ禍により在宅者や高齢者を狙ったうそ電話詐欺や悪徳商法はますます巧妙化してきており、新たな手口による被害が起こる恐れがあります。高齢者を対象としたチラシ配布による啓発活動や出前講座を実施しています。
今後の展開	○巧妙化した新たな手口に対応するため、関係機関と連携し、新しい情報の収集や高齢者を対象とした出前講座の開催、詐欺・悪質商法防止等の啓発チラシ等を配布する等対応策の啓発を行い、被害の防止を図ります。

#### (5) 防犯対策の充実

概要	高齢者等を犯罪から守り、安心した日常生活が送れるように、地域ぐるみの防犯への取組を行っています。
現状・課題	○日南警察署や日南地区防犯協会と協力しながら、地域・交通安全（特殊詐欺・悪質商法防止、交通安全等）の啓発チラシ等を作成し配布しています。 ○自治会や地域連携組織等において、夜間防犯パトロール等が行われています。
今後の展開	○地域における防犯体制の充実拡大を推進するとともに、広報誌やホームページのほか、各地区の自治会や高齢者クラブ、民生委員等の協力を得て啓発チラシ等を作成し配布すること等で情報を発信することにより、防犯に対する意識の向上を図ります。

#### (6) 交通安全対策の充実

概要	警察署及び関係機関等と連携し、交通安全運動や講話等を定期的に行い、交通安全に対する意識の啓発や交通マナーの周知に努めています。また、高齢者宅に啓発用チラシの定期配布及び高齢者運転免許証自主返納メリット制度、アカウミガメ制限運転宣誓事業を実施しています。 地域ぐるみで、道路横断時における声かけや見守りも行われています。
現状・課題	○高齢者運転免許証自主返納メリット制度やアカウミガメ制限運転宣誓事業の普及・啓発により高齢者の意識の向上を図る必要があります。
今後の展開	○現行の取組について、警察署及び関係機関等と連携し、交通安全運動のキャンペーンやチラシによる啓発等を今後も継続して実施します。 ○高齢者の運転による交通事故を防止するため、高齢者運転免許証自主返納メリット制度やアカウミガメ制限運転宣誓事業の利用促進を進め、高齢者の意識の向上を図ります。



## 4 社会参加・生きがづくり

### (1) 長寿祝金の支給

概要	高齢者を敬愛し、長寿を祝うため、100歳を迎えられた方と最高齢者に祝金1万円を支給しています。
現状・課題	○市長がお祝いを届けており、対象者やその家族等から大変喜ばれています。
今後の展開	○高齢者への尊敬の念や感謝の意を表する事業として、お祝いを継続します。

	実績値		見込み
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給者数（人）	30	36	34

### (2) シルバー人材センターの活用

概要	<p>高齢者の労働能力を活用し、自らの生きがづくりや社会参加を通して活力ある地域社会を作ることを中心に、高齢者の能力・経験に応じた仕事を紹介する事業として、シルバー人材センターによる活動が行われています。</p> <p>○社団法人 日南市シルバー人材センター 日南市中央通一丁目9番地7</p>
現状・課題	○高齢者の能力や経験に応じた就労の機会を確保しています。
今後の展開	○生活様式の多様化によって会員の要望が様々であることから、そのことにシルバー人材センターが対応した活動を行うことができるよう、支援に努めます。

	実績値		見込み
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会員数（人）	282	274	280



### (3) 高齢者クラブ活動への支援

<b>概要</b>	高齢者の自主的な組織である「高齢者クラブ」において、地域に根ざした社会奉仕活動、友愛活動、スポーツ等幅広い活動を行い、高齢者の生きがいつくりを推進しています。
<b>現状・課題</b>	○組織強化のため、会員増強運動により新規会員の加入促進に取り組んでいます。
<b>今後の展開</b>	○今後も新規高齢者の加入促進、単位クラブ及び連合会の組織基盤の強化、活性化の促進等を図ります。

	実績値		見込み
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会員数（人）	2,722	2,642	2,450

### (4) いきいき合同金婚式

<b>概要</b>	結婚50周年を迎えられた夫婦を一堂に招き、合同金婚式を開催しています。
<b>現状・課題</b>	○令和4（2022）年度から式典と祝宴の2部構成を変更し、祝宴を行わないことで負担金を徴収せず、余興をメインにした式典を実施しました。
<b>今後の展開</b>	○余興をメインにしたことで出席者に好評であったため、今後も継続して実施していきます。 ○今後は事業について更に周知を行い、出席者の増加を図ります。

	実績値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
出席組数（組）	12	14	10



## (5) ふれあいいきいきサロン支援事業

<b>概要</b>	一人暮らし高齢者や閉じこもりがちな高齢者が、地域でいきいきと元気で暮らせることを目的に「ふれあいいきいきサロン」が開催されています。 社会福祉協議会が主体となって、サロンの普及・拡大を図っています。
<b>現状・課題</b>	○高齢者の通いの場、憩いの場として閉じこもり防止等に役立っています。 ○生活支援コーディネーターが新規立ち上げや活動内容の充実に向け支援しています。
<b>今後の展開</b>	○地域の各種団体や関係者と情報交換を行う等して、地域住民が参加しやすい環境づくりを行います。 ○今後とも、サロンの運営支援に努めるとともに、サロン運営の担い手育成の取組を継続して行います。

	実績値		見込み
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サロン数（か所）	109	107	106

## (6) 生涯学習の推進

<b>概要</b>	高齢者クラブや生涯学習担当部局との連携により、地域ごとにきめ細かな高齢者教室が行われています。
<b>現状・課題</b>	○高齢者クラブや生涯学習担当部局との連携により、市内9地区で高齢者教室を開催しています。
<b>今後の展開</b>	○講座内容の充実を図るため、関係機関等との更なる連携を図ります。 ○「高齢者教室便り」の発行や市広報誌などによる広報の工夫やわかすぎ号での参加者の送迎による交通手段の確保を維持することで、参加者の増加を図ります。



## (7) 健康づくりの推進

<b>概要</b>	市民が自分自身の健康管理に対する意識を高め、地域ぐるみで健康づくりに取り組むため、健康増進法「健康にちなん21」計画と連動しながら、生活習慣病の重症化予防及び介護予防への理解を深めるため、普及活動を推進しています。
<b>現状・課題</b>	○健康増進法に基づく「健康にちなん21」計画と連動しながら、生活習慣病の重症化予防への理解を深めるため、普及啓発活動を推進しています。 ○介護予防に取り組む高齢者数は年次的に増加しており、各種団体からの講話依頼や自主グループの活動時に出向いて、病気の重症化予防を含めた介護予防について周知に努めています。
<b>今後の展開</b>	○高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業実施に伴い、関係機関との連携強化と通いの場を活用した介護予防普及啓発事業（ポピュレーションアプローチ）に係る人材の確保に積極的に取り組んでいきます。